

DISC PRESS GUIDEBOOKは、ディスク製造に必要な「プレス用マスター」と「印刷用データの作成」を初めてディスク製造をされる方へ、わかりやすくまとめた指南書となっています。本書はページ順でご確認いただける様、積み上げ方式で解説しています。トラブルのないスムーズなプレス作成のため、是非本書をご活用ください。

プレス用マスターについて

プレス用マスターを作成する前に、必ず「**プレス用マスター入稿規定 (P01)**」「**マスター作成について (P02)**」をご確認ください。ご支給いただいたマスターを使用し、ディスク製造が可能かどうか、ディスク製造工場にて検証を行います。通常に再生が行えるマスターであっても、「ディスク製造に適さない」場合があります。以上のことを予めご了承ください、プレス用マスターの作成をお願いします。

プレス用マスター入稿規定

- ☐ 「マスター作成について」をご確認の上、そのまま使用可能なマスターをご入稿ください。
- ☐ お客様保管用にマスターのバックアップを必ず作成してください。
- ☐ マスターと一緒に、サブマスター（マスターの予備）をご入稿してください。（お客様任意）
- ☐ 入稿前は必ずマスターの再生確認（内容確認）を行ってください。
- ☐ マスターは必ずエアークレニング等で保護を行ってください。

◆注意点1 「CD-EXTRA」「DVDビデオ/ROM」について

1枚のディスクに、異なるコンテンツ（音楽と映像等）を含む「CD-EXTRA」、「DVDビデオ/ROM」等のマスターは、1枚のディスクに異なるコンテンツを収めた状態でご入稿ください。

◆注意点2 「CD-TEXT」について

CD-TEXTは、「アルバムタイトル」「各トラックタイトル」の入力が必須です。当社対応のCD-TEXT言語コードは、日本語、英語の2言語です。**1文字でも日本語が含まれる場合、日本語コードで作成してください。英語コードの場合、英数字のみで日本語を混在させないで下さい。**文字数は、英語（1バイト）ではトータルで、約6000バイト、日本語（2バイト）はトータルで約3000バイトです。任意記録項目として、アルバムアーティスト、Performer（アーティスト、演奏者）、Composer（作曲）、ARRANGER（編曲）、SongWriter（作詞）等があります。

※マスタリング（ライティング）ソフトの言語設定を必ずご確認ください。

◆注意点3 マスター作成環境について

パソコンを使用せずに作成できる、録音可能なCDレコーダーや録画可能なDVDレコーダーで作成されたディスクは、プレス用マスターとして適していません。エラーやプレス後の不具合が発生する可能性があるため、パソコン環境でマスタリング・オーサリングソフト等を使用しマスターを作成してください。

※予備知識 「ディスクアットワンス」「トラックアットワンス」について

一度書き込みが行われたCD-R又はDVD-Rに、データの追加ができない書き込み方式を「ディスクアットワンス」と言い、逆にデータが追加できる書き込み方式を「トラックアットワンス」と言います。ライティングソフトによって異なりますが、「ファイルを追加可能にする」「マルチセッションにする」等の設定項目にチェックが入っている場合、プレス用マスターとして使用できない「トラックアットワンス」で書き込みが行われてしまいますので、ご注意ください。

■CDプレス用マスター作成について

●入稿可能なCDプレス用マスターについて

CDプレス用マスターとして利用可能なマスターは下記3種類です。
必ず「マスター作成注意点」「CDデータ容量・収録時間」をご確認の上、作成してください。

●「CD-R」マスター作成注意点

- ・必ず書込方式を**ディスクアットワンス(セッションを閉じる)**に設定し**書込み**を行ってください。
- ・マスター用のCD-Rは、書き込みエラーが少なくなる様、「高品質なディスク」を使用してください。

●「DDPファイル」マスター作成注意点

- ・必ず作成されたDDPファイルは、CD-R又はDVD-Rに書込みいただきご入稿ください。
- ・DDPファイルは、日本レコード協会により作成された「CD用マスタDDPファイル互換性ガイドライン」に基づいて、マスターを作成してください。
→ 社団法人 日本レコード協会 ホームページアドレス:<http://www.riaj.or.jp>

●「3/4U-MATIC」マスター作成注意点

- ・必ずPQシートを出力し、ご入稿時PQシートを同封してください。
- ・海外プレスをご希望の場合、3/4U-MATICマスターはご利用できません。

○CDデータ容量・収録時間

最大容量 - 640MB以内 / 最大音楽収録時間 - 74分

※規格外で690MB以内、79分まで収録が出来ますが、動作保障対象外となりますので予めご了承ください。

■DVDプレス用マスター作成について

●入稿可能なDVDプレス用マスターについて

DVDプレス用マスターとして利用可能なマスターは下記2種類です。必ず「マスター作成注意点」「DVDデータ容量・収録時間」をご確認の上、作成してください。

DVDプレス用マスター対応表

プレス/メディア	DVD-R	DLT
DVD-5(4.5GB)	●	●
DVD-9(8.5GB)	×	●

●「DVD-R」マスター作成注意点 (DVD-5対応)

- ・必ず書込方式を**ディスクアットワンス(セッションを閉じる)**に設定し**書込み**を行ってください。
- ・DVD-Rをマスターとして使用する場合、コピーガード、リージョンコードの設定は出来ません。
- ・マスター用のCD-Rは、書き込みエラーが少なくなる様、「高品質なディスク」を使用してください。
- ・DVD-9 (8.5GB)プレスをご希望の場合、DVD-Rはご利用いただけません。

●「DLT」マスター作成注意点 (DVD-5/DVD-9対応)

- ・DLTマスターは、必ず**DDP2.0フォーマット**で作成してください。
- ・DLTテープは、「Type III」「Type III XT」「Type IV」のいずれかをご使用ください。
- ・コピーガード、リージョンコードの設定を施す場合、DLTマスター作成時に設定してください。

○DVD-5 (片面一層) データ容量・収録時間

最大容量 - 4.7GB以内 / 最大映像収録時間 - 133分 (平均転送レート 約4.7Mbps)

○DVD-9 (片面二層) データ容量・収録時間

最大容量 - 8.5GB以内 / 最大映像収録時間 - 242分 (平均転送レート 約4.7Mbps)

印刷用データ作成について

印刷用データを作成の際、必ず「印刷用データ入稿規定」をご確認いただいた上で、データ作成を始めてください。
当社ではレーベル面への印刷用データを「レーベル用印刷データ」と表記し、
ジャケット、歌詞カード、オビ等への印刷用データを「ジャケット印刷データ」と表記しています。

印刷用データ入稿規定

◆ 印刷用データ作成の注意点

- | | |
|--|------------------|
| <input type="checkbox"/> 印刷データは必ず「Adobe Illustrator」を使用し作成してください。 | P04 アプリケーションについて |
| <input type="checkbox"/> 必ず当社テンプレート (Adobe Illustrator) を使用しデータ作成してください。 | P04 テンプレートについて |
| <input type="checkbox"/> テンプレートの「デザインレイヤー」でデザインを行ってください。 | P04 レイヤーについて |
| <input type="checkbox"/> テンプレートの「トンボレイヤー」の削除・変更は絶対に行わないでください。 | P04 レイヤーについて |
| <input type="checkbox"/> テンプレートのファイル名の変更は絶対に行わないでください。 | P04 ファイル名について |

◆ Adobe Illustratorの注意点

- | | |
|--|------------------|
| <input type="checkbox"/> カラーモードはCMYKに設定してください。 | P05 カラーモードについて |
| <input type="checkbox"/> オーバープリントのチェックは外してください。 | P05 オーバープリントについて |
| <input type="checkbox"/> ご入稿時に全ての文字を「アウトライン化」してください。 | P05 アウトライン化について |
| <input type="checkbox"/> ご入稿時に全ての配置画像の「埋め込み」処理をしてください。 | P06 配置画像について |
| <input type="checkbox"/> リッチブラックは、CMYをそれぞれ30%以内に抑えてください。 | P07 リッチブラックについて |
| <input type="checkbox"/> 線の色設定は「塗り」ではなく「線」の色を選択してください。 | P07 線の設定について |
| <input type="checkbox"/> 必ず作成されたIllustratorと同じバージョンで保存して下さい。 | P07 ファイルの保存について |

◆ Adobe Photoshopの注意点

- | | |
|--|------------------|
| <input type="checkbox"/> 適切なカラーモードに設定してください。 | P08 カラーモードについて |
| <input type="checkbox"/> 画像解像度は「原寸サイズの350pixel/inch (dpi)」で作成してください。 | P08 配置画像の解像度について |

◆ レーベル印刷データ作成の注意点

シルク印刷、フルカラー印刷共通

- | | |
|---|----------------|
| <input type="checkbox"/> 内径23mmでデザインされる場合、スパッタリングエリアにご注意ください。 | P10 スパッタリングエリア |
| <input type="checkbox"/> レーベル面に規格に基づいたロゴマークを表記が必要です。 | P10 表記事項について |
| <input type="checkbox"/> 海外プレスをご希望の場合、必ず原産国表記が必要です。 | P10 原産国表示 |

◆ レーベル印刷用「シルク印刷データ」作成 注意事項

- | | |
|---|---------------|
| <input type="checkbox"/> 必ず「disc-color」で色指定してください。 | P11 シルク印刷の色指定 |
| <input type="checkbox"/> 画像、グラデーションの使用及び99%以下での色指定はご注意ください。 | P11 シルク印刷注意点 |
| <input type="checkbox"/> 使用される画像は、グレースケール・モノクロ2階調で作成してください。 | P12 画像を使用する場合 |

◆ レーベル印刷用「フルカラー印刷データ」作成 注意事項

- | | |
|--|-----------------|
| <input type="checkbox"/> 白版の「あり」、「なし」の指示をしてください。 | P12 「白版」について |
| <input type="checkbox"/> 単色での全ベタ塗りはお勧め出来ません。 | P09 フルカラー印刷について |

◆ ジャケット印刷データ 作成注意点

- | | |
|--|----------------------|
| <input type="checkbox"/> 必ずテンプレートに記された「ページ順」通りに作成してください。 | P13 ジャケット印刷データ作成の注意点 |
| <input type="checkbox"/> 断裁を考慮し、「塗り足し」を作成してください。 | P13 塗り足し不足 |
| <input type="checkbox"/> 断裁、折り加工を考慮したレイアウトを行ってください。 | P13 文字切れ |

◆ 印刷用データ入稿時の注意点

- | | |
|--|-----------------|
| <input type="checkbox"/> 文字が全て「アウトライン化」されているか再度ご確認ください。 | P05 アウトライン化について |
| <input type="checkbox"/> 配置画像が全て「埋め込み」処理されているか再度ご確認ください。 | P06 配置画像について |
| <input type="checkbox"/> フォルダ名を品番に変更し、ファイル整理をしてください。 | P14 ファイル整理について |

■印刷データ作成の注意点

●アプリケーションについて

印刷データは「Adobe Illustrator」を使用し作成してください。(※Ver.8～最新バージョンまで対応。)

画像データは「Adobe Photoshop」での作成をお勧めしています。

(注) その他画像編集ソフトをご利用の場合、適切な解像度・カラーモードが設定可能であるか確認をしてください。

●テンプレートについて

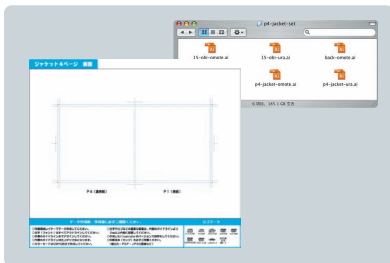
必ず当社テンプレート(Adobe Illustrator)を使用し、印刷データを作成してください。

当社テンプレート以外でのご入稿は受け付けておりませんので、予めご了承ください。

テンプレートは当社ホームページよりダウンロードできます。

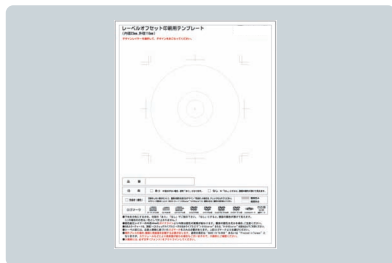
■ジャケットテンプレート

ジャケットテンプレートのフォルダ内に、各パーツ名でファイルをご用意しています。各パーツごとに印刷データを作成してください。



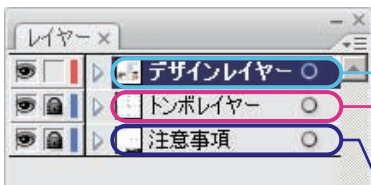
■レーベルテンプレート

印刷方法(シルク印刷又はフルカラー印刷)と、内径(23mm又は46mm)の組合せにより、計4種類のテンプレートを用意しております。



●レイヤーについて

当社テンプレートには、独自の設定が施されたレイヤーが作成されています。「レイヤー」での取り扱い注意点は、下記の3点になります。



「デザインレイヤー」で印刷データのデザインを作成してください。デザインをする上で、レイヤーを増やす必要がある場合でも、ご入稿時には必ず「デザインレイヤー」に統合してください。

「トンボレイヤー」は削除したり変更を加えないでください。変更された場合、正しく印刷されません!

デザイン作業を始める前に、必ず「注意事項」をご確認ください。

※レイヤーパネルの表示方法

画面上部のメニューバーから「ウィンドウ」→「レイヤー」を選択します。

●ファイル名について

テンプレートのファイル名は、絶対に変更しないでください!

p4-jacket-omote.aiの場合、「ページ数」-「内容」-「表裏」という意味の設定がされています。

このファイル名を自動的に読み取り、自動組版(下版データ作成)が行われます。

ファイル名が変更されている場合、正しく印刷されませんので、ご注意ください。

■ カラーモードについて

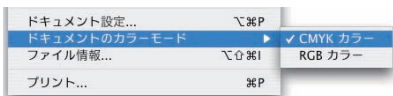
Adobe Illustratorの基礎知識

Illustratorの ver.9以降では、書類のカラーモードは「RGBカラー」と「CMYKカラー」から選択できます。

必ずカラーモードを「CMYKカラー」に設定してから、印刷用データの作成をしてください。

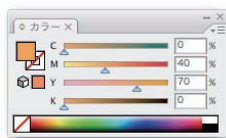
● カラーモードの変更方法

画面上部のメニューバーから[ファイル]→[ドキュメントモード]→[CMYKに変換]を選択します。



● カラーパネルの表示方法

画面上部のメニューバーから[ウィンドウ]→[カラー]を選択します。



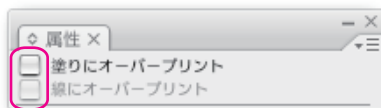
■ オーバープリントについて

Adobe Illustratorの基礎知識

印刷色を透かして見せるオーバープリントの設定が、イラストレーターで指示できるようになっていますが、弊社は原則禁止しています。チェックを入れることにより、様々なトラブルを引き起こす原因になりますので、チェックをいれないでください。

● 属性パネルの表示方法

画面上部のメニューバーから「ウィンドウ」→「属性」を選択します。



塗り・線ともにチェックはオフの状態にしておいてください。

■ アウトライン化について

Adobe Illustratorの基礎知識

入稿時は必ず全てのフォントを「アウトライン化」してください！

使用フォントがアウトライン化されていない場合、異なったフォントで印刷されてしまう恐れがあります。

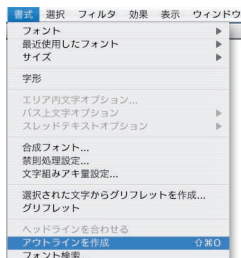
● アウトライン化の方法

アウトライン化したい文字を選択し、画面上部のメニューバーから[文字]→[アウトライン作成]を選択します。

あア → あア



アウトライン化すると文字の編集、修正が出来なくなります！アウトライン化を行う前は、必ずデータのバックアップをお勧めします。



● 入稿時一発アウトライン化

レイヤーパネルにて「デザインレイヤー」のロック（鍵アイコン）がオフになっているか確認をしてください。

（※オンの場合は鍵アイコンをクリックし、オフにしてください）画面上部のメニューバーから「全てのオブジェクトのロック」を外し、「オブジェクト」→「全てを選択」を選択します。さらに画面上部のメニューバーから「文字」→「アウトラインを作成」で全ての文字をアウトライン化できます。

※「全てを選択」時、画面上全てのオブジェクトが選択されますが、特に問題ありません。

Illustrator上に画像を配置するには「リンク」と「埋め込み」の2種類があります。

当社へデータを入稿する際は、必ず配置画像を「埋め込み」処理してください！



●「埋め込み」と「リンク」について

配置画像の「リンク」は、「埋め込み」処理された画像に対しファイルデータの容量が軽く、スムーズな作業が可能です。

配置画像が大量の場合、画像を「埋め込み」処理してしまうと、ファイルデータは予想以上に重くなるため作業中は「リンク」のまま進める事がお勧めです。ただし、ご入稿時は必ず「埋め込み」処理を行ってください。

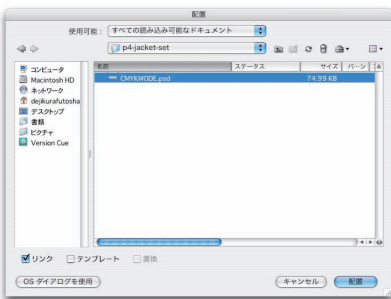
●配置画像の確認方法

配置された画像が「埋め込み」と「リンク」どちらの状態にあるかは、リンクパネルで確認できます。

リンクパネルにて、画像横にマークの表示がある場合、配置画像は「埋め込み」処理されており、マークの表示がない場合、配置画像は「リンク」状態になっています。

●画像の配置方法

画面上部のメニューバーから「ファイル」→「配置」にて「ファイル選択ダイアログ」が表示されます。配置したい画像を選択し「リンク」にチェックをいれると「リンク」状態で画像が配置され「リンク」のチェックを外すと「埋め込み」処理された画像が配置されます。



●「リンク」パネルの表示方法

画面上部のメニューバーから「ウィンドウ」→「リンク」を選択します。

●リンク画像の埋め込み方法

画像選択後、リンクパレット右上にある三角ボタンをクリックし「画像の埋め込み」を選択します。リンク画像の変更は「リンクを再設定」で行ってください。



●配置画像と背景色の色設定

配置画像の背景色と、Illustrator上の背景色が「同じ値で色設定されてない」と、異なった背景色が印刷されてしまいます。

背景色を同一に設定するには、濃度(%)を同一に設定してください！



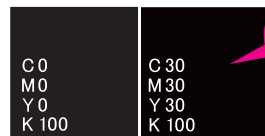
配置画像の背景色とIllustrator上の背景色が異なるため色違いの段差が印刷されてしまいます。

配置画像の背景色とIllustrator上の背景色が一致しているため、違和感無く正しく印刷されています。

■リッチブラックについて

Adobe Illustratorの基礎知識

C、M、Yがそれぞれ0%、K100%で設定された通常の黒色に対し、C、M、Yそれぞれ約30%づつ追加し、K100%にて設定された黒色を「リッチブラック」と言います。



お助
めな
CMYK値

●通常ブラック

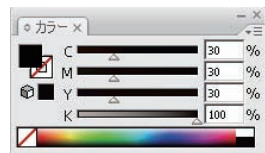
DISC PRESS
ガイドブック

DISC PRESS
ガイドブック

●リッチブラック

DISC PRESS
ガイドブック

DISC PRESS
ガイドブック

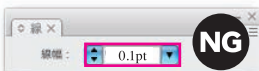
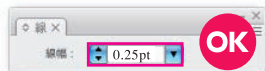


リッチブラックは通常の黒色に対し、より黒くハッキリした発色の印刷が可能になりますが、版スレや裏写りの恐れがあります。当社へ入稿の際、CMYがそれぞれ30%を超える場合、インクの乗りすぎて裏写りなどの問題が発生してしまいます。

■線の設定について

Adobe Illustratorの基礎知識

ペンツール等で作成した線は、必ず「線」の色を選択し、「線幅」を「0.2pt以上」に設定してください。「0.2pt以下」に設定した「線」、または「塗り」だけで作成された線は、かすれてしまったりと印刷に正しく反映されません。



●線パネルの表示方法

画面上部のメニューバーから[ウィンドウ]→[線]を選択します。



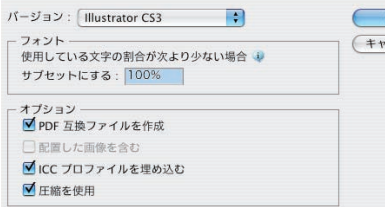
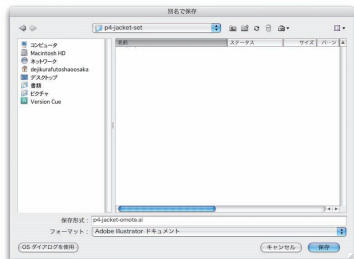
■ファイルの保存について

Adobe Illustratorの基礎知識

作業後、初めてテンプレートを保存するときには、必ず「別名で保存」を選択し、保存してください。別名で保存時の「フォーマット」は「Adobe Illustrator書類」に設定して下さい。



必ず作成されたIllustratorと同じバージョンで保存して下さい。



【フォント】

使用している文字の割合が次より少ない場合サブセットにする:100%

【オプション】

■PDF 互換ファイルを作成:どちらでもOK ■配置した画像を含む:オン(注1)

■ICCプロファイルを埋め込む:オフ ■圧縮を使用:どちらでもOK

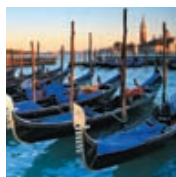


(注1) ここで「配置した画像を含む」にチェックをすることで一括で画像を埋め込むことが可能です。

■ 配置画像の解像度について

Adobe Photoshopの基礎知識

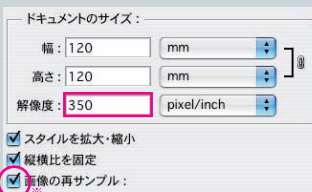
スキャナーでスキャンした画像、デジタルカメラから取り込んだ等の画像データは、印刷データに適した解像度（原寸サイズの350pixel/inch(dpi)）になるよう設定してください。これより高解像度でも画像のきめ細かさに変化はありません。これより低い解像度で作成されたデータは「ぼやける」「ギザギザに見える」などの問題が発生します。



72pixel/inch



350pixel/inch



■ 解像度の確認方法

画面上部のメニューバーから[イメージ]→[画像解像度]を選択すると解像度パネルが表示されます。幅・高さが実際に使われるサイズ（原寸）で、解像度が350pixel/inch(dpi)になっているか、設定を確認してください。

※幅と高さが使用サイズと違う場合[画像の再サンプル]のチェックを外し、使用サイズ（幅・高さ）を入力することで、原寸サイズでの解像度を確認できます。

■ カラーモードについて

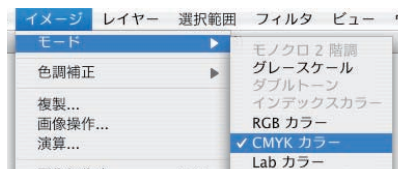
Adobe Photoshopの基礎知識

画像のカラーモードは下記表をご確認いただき、適切なカラーモードを設定してください。

カラーモード	使用用途	通常印刷/ジャケット等	レーベル印刷/フルカラー	レーベル印刷/シルク
CMYK		●	●	×
グレースケール		●	●	●
モノクロ2階調		●	●	●
その他		×	×	×

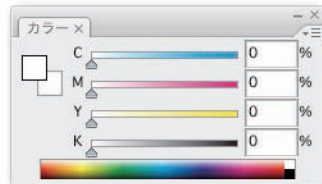
■ フォトショップでの変換方法

画面上部メニューバーから「イメージ」→「モード」の選択項目の中から適切なカラーモードを選択します。



■ カラーパネルの表示方法

画面上部メニューバーから「ウィンドウ」→「カラー」を選択します。



レーベル印刷について

■印刷の種類について

レーベル印刷には「シルクスクリーン印刷」と「フルカラー印刷」の2種類があります。それぞれ特性がありますので、デザインに合わせてお選びください。

●シルク印刷について

Tシャツや名入れ等でよく使用される、シルクスクリーン印刷と同じ方法で印刷を行います。インクに光沢感があり、シンプルなデザインや、ベタ塗りを使用するデザインに適しています。ただし画像解像度（線数）は低く、鮮明な写真画像やグラデーションには不向きです。



シルク印刷に適したデザイン



シルク印刷に不向きなデザイン
（画像など）



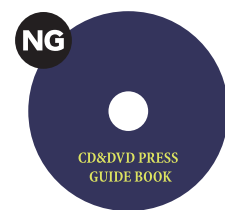
解像度（線数）が低い
ため写真は荒い網点で再現されます

●フルカラー印刷について

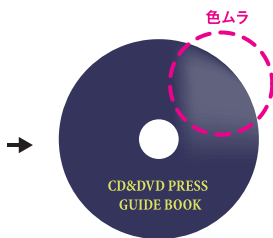
フルカラー印刷（オフセット印刷）は紙へ行う印刷と同じ方法で印刷を行います。写真通り鮮明な印刷が可能になり、写真画像や色数の多いデザインに適しています。ただし広範囲にわたって作成された単色のベタ塗りには色ムラが発生しやすく、シンプルなデザインはお勧めできません。



フルカラー印刷に適したデザイン



フルカラー印刷に不向きなデザイン



広範囲のベタ塗りは色ムラ
がおこります

■レーベル印刷範囲について

レーベル印刷用のテンプレートは、内径サイズと印刷方法の組み合わせで4種類あります。



シルク印刷	
内径23mm	silks-23mm-label.ai
内径46mm	silks-46mm-label.ai
オフセット印刷（フルカラー）	
内径23mm	full-23mm-label.ai
内径46mm	full-46mm-label.ai

■スパッタリングエリア

内径23ミリ用のディスクは、23-46ミリの間と46-116ミリの間では盤面（銀色）の質感が異なります。この23mm-46mmのエリアの事をスパッタリングエリアと呼びます。盤面の銀色をそのまま見せるデザインやディックカラーの透明色を使用する場合は注意してください。



■表記事項について

規格に基づき、レーベル及び印刷物にディスクマークや各マークを表示する必要があります。

●規格ロゴマーク表示

レーベル面に規格に基づいたロゴマークを表示してください。

規格ロゴマークはテンプレートの「ロゴマーク」を使用し、レーベル面上へ配置してください。

JASRACに登録している楽曲を使用する場合、JASRACマークと許諾番号を表記する必要があります。



●原産国表示

海外プレスの場合、原産国の表記が必要です。

レーベル面に、「MADE IN TAIWAN」又は「PRESSED IN TAIWAN」を必ず表記してください。

●品番

当社とプレス工場にて管理を行うため、入稿時に「品番」を決めてください。

「品番」は任意ですので、お好きな英数字を組み合わせ、13桁以内でご自由に作成してください。

※既存製品にて重複した場合は変更していただく場合がございます。予めご了承ください。

●その他表記

CD、DVDにはディスクマーク以外に©等の各種マークの表示規定があります。各種マークの意味、表示方法は日本レコード協会により作成された、「オーディオCDの表示事項及び表示方法」、「DVDビデオの表示事項及び表示方法」をご確認ください。各マークの正しい意味と正しい表示方法をご確認いただき正しく表示してください。

社団法人 日本レコード協会 ホームページアドレス: <http://www.riaj.or.jp>
日本レコード協会規格「RIS (Record Industrial Standard)」をご確認ください。

レーベル印刷データ作成について

シルク印刷の場合

■シルク印刷の色指定

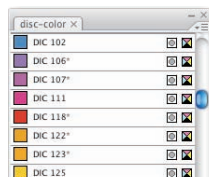
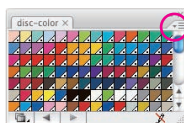
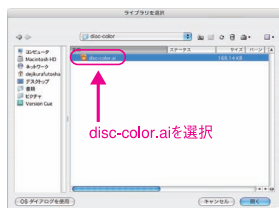
シルク印刷の場合、シルク印刷専用の「disc-color」の中から色を指定してください。

●「disc-color」の使用方法

画面上部メニューバーから「ウィンドウ」→「スウォッチライブラリ」→「その他ライブラリ」を選択すると「ファイル選択ダイアログ」が表示されます。ファイル選択ダイアログにて、ファイル場所を「disc-color」の保存場所へ変更し、「disc-color」を選択、「開く」ボタンをクリックすると、「disc-color」パネルが表示されます。

次に特色パレットにて右上の三角マークをクリックし、選択項目から「リスト表示」を選択するとDICナンバーのリストが表示されます。「リスト表示」にて色とナンバーを確認しつつ、色指定をおこなってください。

※「disc-color.ai」は当社ホームページよりダウンロードできます。



●「disc-color」でのDIC指示方法

変更したいオブジェクトを選択した状態で「disc-color」の中から色を選択し、ダブルクリックしてください。



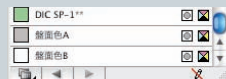
色指示したいオブジェクトを選択



ダブルクリック

■盤面色の指示

盤面色（銀色）を使用したい場合には、「disc-color」の中の盤面色A、盤面色Bからデザインにあわせて指示してください。



■シルク印刷の注意点

シルク印刷の場合、画像データの濃淡は荒い網点（ドット）で表現されます。

グラデーション、写真画像、99%以下のカラーは、印刷時に網点で表現され荒く見えてしまうため、シルク印刷ではお勧めしていません。

画像を使用した場合

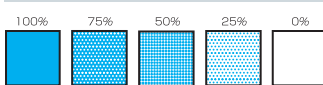


100%のカラー



99%以下のカラー

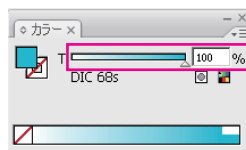
1色部分の濃度を99%以下にした場合



グラデーションを使用した場合



99%以下にすることはお勧めできません。

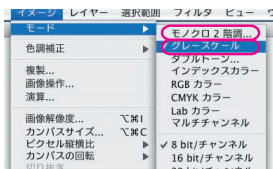


■画像を使用する場合

シルク印刷にて画像を使用する場合、用意した画像をグレースケール、またはモノクロ2階調に変更してください。
解像度はジャケット印刷と同じで、実際に使用されるサイズ(原寸)の350pixel/inch(dpi)です。

●フォトショップでの変換方法

画面上部メニューバーから「イメージ」→「モード」にて「モノクロ2階調」または「グレースケール」を選択します。



●画像のDIC指示方法

画像は「モノクロ2階調」、または「グレースケール」にて
テンプレートへ配置してください。例) 右記画像参照。
画像横にもDIC番号の指示を記載する必要があります。



画像はグレースケール、モノクロ2階調
以外で配置しないでください。



例) DIC582(M)

フルカラー印刷の場合

●フルカラー印刷について

フルカラー印刷（オフセット印刷）の場合、カラーモードをCMYK、グレースケール、モノクロ2階調のいずれかで印刷データを作成してください。

●「自版」について

レーベル印刷に限らず、フルカラー印刷（オフセット印刷）は、透き通ったインクで印刷されています。

レーベルの表面は銀色のため、紙印刷と同じ発色させるには、下地として先に白版を印刷し、下地を作成する必要があります。

また逆に、白版を作成しない事で盤面の銀色を透かした特殊な印刷も可能です。**白版の「あり」「なし」はテンプレートより指示できます。**

(下記レーベルテンプレート参照)



白版あり(通常)



白版なし

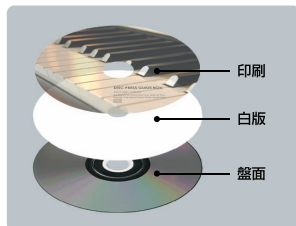
■レーベルテンプレート

[illegible]

※一部分のみ透かし印刷を希望される場合は、別途指示してください。

※フルカラー（オフセット）の場合は「disc-color」を使用しないでください。

■白版ありの場合

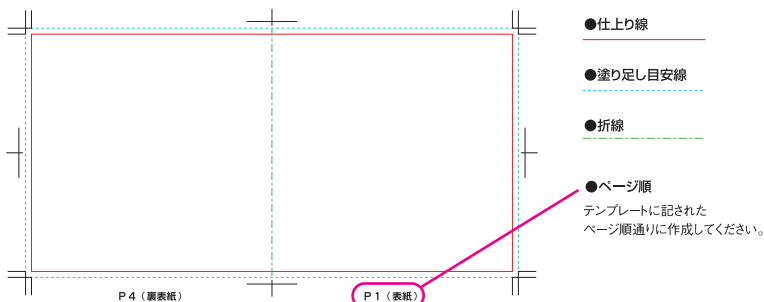


ジャケット印刷について

■ジャケット印刷データ作成の注意点

印刷データは印刷後、テンプレートのガイドラインに沿って折り加工、断裁作業が行われます。

印刷データをレイアウトする際は、下記の注意事項を良く確認してください。



- 塗り足し不足 外側の「塗り足し目安線」まで印刷データが作成されていない場合、断裁のスレにより下地（紙の色）が見えてしまいます。その問題を防ぐために、塗り足し部分まで必ず作成してください。



- 文字切れ 文字やロゴなどが、内側の「仕上り線」より2ミリ以上内側に配置されていないと、断裁のスレにより文字が切れてしまう恐れがあります。

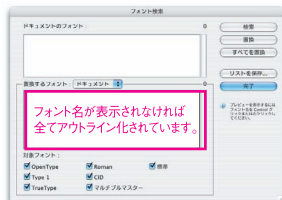


※バックインレイ・オビの場合は、加工方式の違いから、2mm内側ではなく1mm内側でも問題ありません。

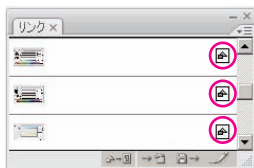
入稿前に最終確認をお願いします

確認1 全てのフォントがアウトライン化されているか確認してください。

■アウトライン化されていないフォントの検索方法画面
上部のメニューバーから「書式」→「フォント検索」を選択します。フォント検索ダイアログにて「ドキュメントのフォント」に**フォント情報が表示されていないこと**を確認してください。もしアウトライン化されてないフォントがあると、フォント情報が表示されます。



確認2 全ての配置画像が「埋め込み」処理されているか確認してください。



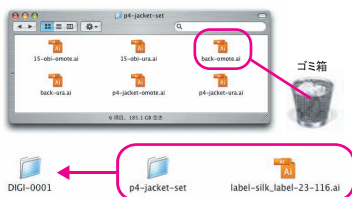
リンクパネルの**画像横に全てマークが表示されていること**を確認してください。「埋め込み」処理されていない画像がある場合、「別名で保存」をおこない、「オプション」項目の「配置した画像を含む」にチェックを入れて保存すると、簡単に全ての画像が「埋め込み」処理された状態で保存できます。

確認3 ファイル整理後、品番名のフォルダに入れてください。

■ファイル整理について

ジャケットデータで使用しない不要なファイルは削除してください。正しく印刷が行えなくなるため、**テンプレートのファイル名は絶対に変更しないでください!**

フォルダを新たに作成し、フォルダ名に半角英数字で品番を付けてください。その中に、ジャケットデータフォルダとレーベルテンプレートファイルを入れてください。



確認4 印刷用データ入稿規定を再度ご確認ください。

3ページの印刷用データ入稿規定は、印刷用データ入稿チェックリストになっています。**上から順にリストをチェック**してください。

入稿データチェック

弊社では印刷データを受け取ったのち、一切データ修正は行っておりません。そのため、弊社によるデータチェックにて不備が発覚した場合は、お客さまにデータを返却させていただく必要があります。お客さま自身で修正していただき、再度弊社へ支給していただく事により、納品日が延長し別途料金が発生してしまいます。再度確認を行うことで不備をなくし、正確なデータを支給していただくことが「入稿の原則」となります。